

児童生徒の現状とニーズ

- ・90%以上の児童生徒が家や学校を「居場所」と感じている
- ・70%の児童生徒が家や学校以外の「居場所」を持っている。この割合は他自治体と比較すると、小学生は同程度、中学生は若干低い。
- ・約30%の児童生徒が家や学校以外の「居場所」を持っておらず、また、約23%の児童生徒が別の「居場所」を必要としている。
- ・「自分達が好きなことを自由にできる場所」を居場所として望んでいる。また、大人の関わりは望まない傾向が強い。
- ・児童生徒のニーズは多様化している。

想定される社会的ニーズ

- ・安全の確保（危険の排除、事故があった場合の対応）
- ・社会（地域住民）との交流
- ・孤独化の防止
- ・他者への迷惑行為等の防止
- ・いろんなことに挑戦してほしい（チャレンジ精神の育成）

七飯町に求められる居場所の形態

- ①児童生徒が好きなことを自由にできる場所（環境）
- ②開放的な場所（いつでも気軽に利用できる場所）
- ③大人が必要以上に関わらない場所
- ④多様なニーズに対応できるよう棲み分けられた場所
- ⑤他者に邪魔されない場所（環境）
- ⑥安全な場所

居場所づくりを進めていくうえでの重要な3つの視点と具体的な取組

行きたい

《自由に過ごせる場所の提供》

- ・公共施設（各部屋の解放含む）の自由解放
- ・自由解放場所の周知

居たい

《心地よい環境の整備》

- ・机や椅子の整備

《多様な居場所の提供》

- ・目的に合わせたルール作り

やってみたい

《活動の紹介》

- ・子どもに関する活動をしている団体を広く紹介

《資源の掘り起こし》

- ・児童生徒と大人が対話できる機会の提供